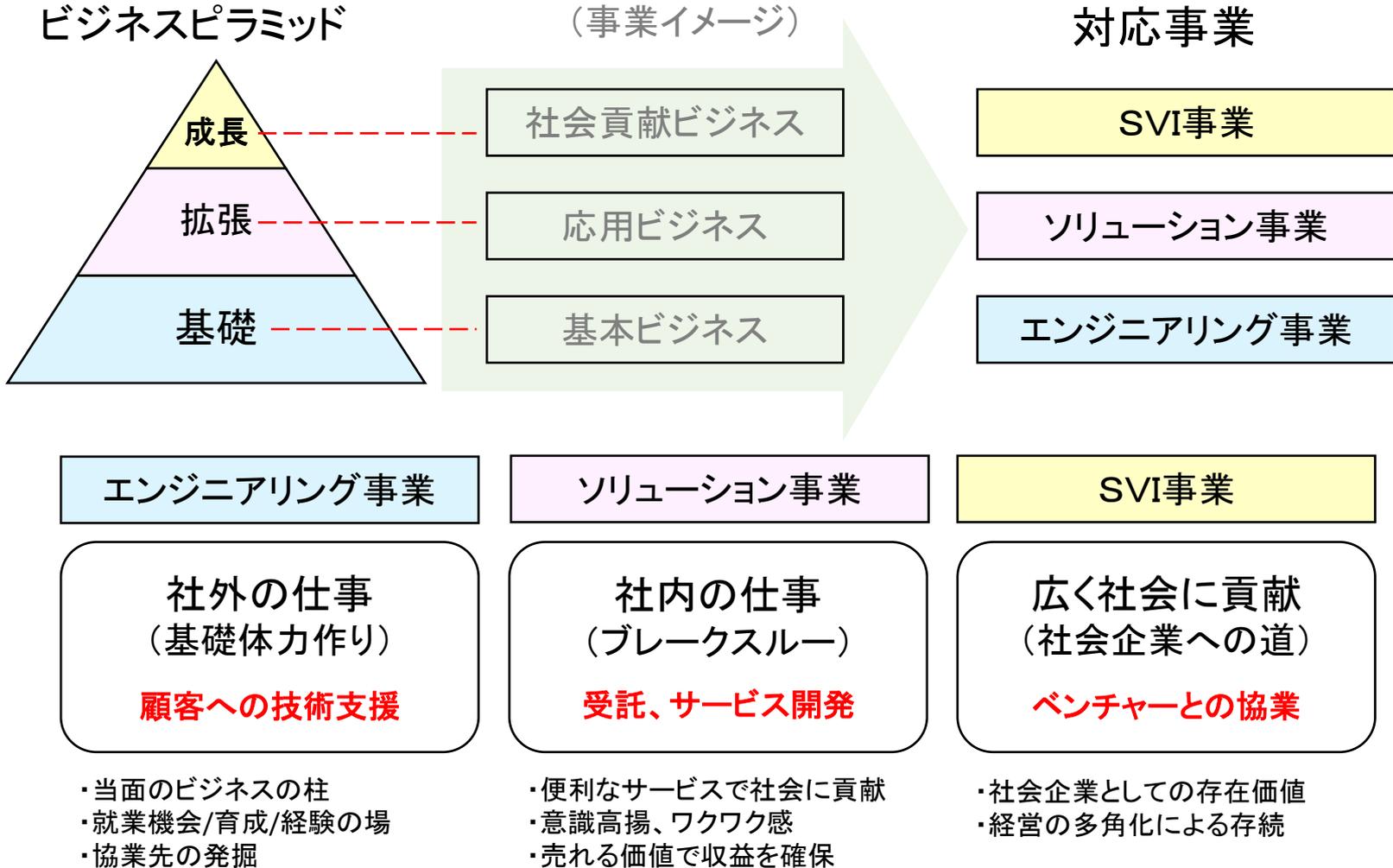


【クリーバル事業のグランドデザイン】



エンジニアリング事業

社外の仕事： 企業としての基礎体力作り

【目的】

- ・当面のビジネスの柱
- ・社員の就業機会/育成/経験の場として活用
- ・良い協業先を開拓する手段

【副次目的】

- ・ベテラン／シニア活用の実践
- ・SESやDX需要の掘り起こし
- ・現場営業(案件/人材発掘)

【具体化の事例】

- ・まずは1,000社程度とのつながりに向けアプローチ継続中

【事業戦略】

- ・マッチングツールの開発及び活用
- ・人材の紹介方法の工夫

（アピールポイントの発掘、表現方法
求める側への安心感提供）

- ・（個別にご説明いたします）
（中堅・若手には当面手を出さない）
- ・必要により営業力強化(営業要員雇用)
- ・両方向マッチングの工夫
- ・案件の上流へのアプローチ

ソリューション事業

社内の仕事：発展へのブレークスルー

【目的】

- ・便利な/役に立つ/面白いサービスで社会に貢献
- ・社員の意識高揚(意欲、ワクワク感、達成感)
- ・売れる価値で収益を確保

【副次目的】

- ・多様な人材を活かす

ベテラン/シニア
障がい者や発達障がい者
介護中の人材
子育て中の人材
外国籍人材

【具体化の事例】

- ・DXツール開発受託
- ・DXツール販売 or DXコンサル
- ・ネコの手サービス
- ・IEOサービス

【事業戦略】

- ・受託ハードルが低いツール開発から始める
Excel VBAにこだわる事なく合理的に考える。
便利にするため、人の負担を和らげるために、どういう
ツールを必要とするかが重要。どうやって作るかは最適
化は後から考える。
(個別にご説明いたします)
- ・ソフトウェアファブレス
- ・多様な人材を活用する工夫
リモート環境の拡充及び利用方法の工夫
顧客訪問や検討会などで分身ロボット「OriHime」等の活用
- ・アイデア/工夫/ビジネスモデルで戦う
アイデアブレスト
ビジネスモデルの工夫

SVI事業

広く社会に貢献： 社会企業への道

【目的】

- ・社会に役立つ企業としての存在価値
- ・経営多角化により存続可能性を高める

【副次目的】

- ・社会に役立つ企業を支えることで
社会企業としての存在意義
- ・良い人材の発掘

【具体化への布石】

- ・ソーシャルサイト運営
- ・人道支援団体の賛助会員

【事業戦略】

- ・協業先(先行参入会社)探し

クラウドファンディング出展者のウォッチ
ソーシャルビジネスコンテストのフォロー

- ・ソーシャルビジネスコンテスト...日経
- ・その他イベントをウォッチ

社会企業大学、NPO法人ETIC、NPO法人JAE、その他

- ・Joint (個別にご説明いたします)

【会社の役割 と 事業での実践】

会社の役割：「みんなが活躍できる場をつくる」

… 理念(人のために、働く)を具体的な役割として規定
社会の仕組み化を目指す

事業での実践：

①エンジニアリング事業

顧客先での仕事なので人材活用の自由度が限られる中、**まずはベテラン/シニアの活用に注力。**

②ソリューション事業

受託及び自社サービス開発を有することで人材活用の自由度を飛躍的に上げ、活用方法の工夫により、**就業機会に恵まれない人材を戦力化する。**

③SVI事業

ITや技術系にはこだわらず、志を持ったベンチャーとの協業などを通じて良い企業を増やし、**様々な立場の人材の活躍の場を広げる**ことを目指す。